

YELL

エール
第14号

那須教育事務所ふれあい学習課
〒321-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel:0287(23)2177 FAX:0287(23)2193
Mail:nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 14 平成23年11月

保護者会で親学習プログラム!その2

那須山に初雪が降り、日に日に寒さが増していますが、お元気でお過ごしですか。節電の冬ですので、防寒対策を万全にして寒い季節を乗り切りましょう。

さて、今号も親学習プログラム（以下親プロという）の紹介をします。このプログラムは、参加者が主体的に学べる参加型の学習プログラムで、次のような流れになっています。

親プロの流れ

アイスブレイク

簡単なゲームなどで、参加者の雰囲気や和ませた後、4~6人のグループを作ります。

中心となる活動

子どもの生活の一コマを取り上げたエピソードや、データ・ロールプレイを基に、**グループ内でおしゃべり**をします。

ふいかえり

おしゃべりの中で「気づいたこと」や「感じたこと」を共有し、行動化につなげます。

参加者の人数や内容にもよりますが、およそ45分~60分あれば、親プロを実施することが可能です。

では実際に、6月に大田原市立蛭田小学校のPTA講演会で行われた親プロの様子をお伝えします。この日のテーマは「子どものほめ方、しかり方」でした。簡単なアイスブレイクを行った後、中心となる活動では、まず二人組になり「しかり言葉」と「ほめ言葉」

を話しかけるロールプレイを交互に行い、次にその感想を4~6人のグループでおしゃべりしました。ふりかえりでは「自分の理想を子供におしつけようとしていることに改めて気づかされた。」「いつも感情的に怒鳴ってばかりだったので、研修で学んだ事をさっそく実践してみたい。」など、自分自身をふりかえり、これからの生活に生かそうとする意見が多く寄せられました。

中心となる活動は、今回のパターン以外にも、様々な活動がありますが、どの活動を行っても、和やかな雰囲気がつくり出され、参加者同士の気づきや交流が促されます。

親プロの進行役をファシリテーターといますが、教員でもこの役を担うことが可能です。特に、社会教育主事有資格教員の方々は、自身のスキルアップにつながりますので、ファシリテーターに挑戦してはいかがでしょうか。教育事務所が全面的にお手伝いします。

また、ふれあい学習課では「ふれあい学習出前講座」として、各学校に出向いて親プロを行っております。保護者会で親プロをお考えの方は、お気軽にふれあい学習課まで御連絡ください。



親プロは、和やかな雰囲気の中で進められます。

ふれあいコラム

図書館を相棒に

秋も深まってまいりました。秋といえば「読書の秋」ですが、みなさんは図書館を利用していますか？図書館には、本を借りる以外にも便利なサービスがあります。

「これからの図書館像(H18 これからの図書館の在り方検討協力者会議)」の報告で、「これからの図書館サービスに求められる新たな視点」の1つに「レファレンスサービスの充実と利用促進」が挙げられています。「レファレンス」などと横文字を使うから難しく感じ

るのですが、要するに「調べもの相談」のことです。つまり、調べものをするとき、図書館がそのお手伝いをしてくれるサービスです。

「調べものはネットで」という方も多いでしょうが、より深く多面的に調べる際には、このサービスは有効です。しかも、図書館司書が調べるので、信頼のおける情報が得られます。

ほとんどの図書館がメールや専用のホームページで調べもの相談を受け付けており、回答もメールのところが多いので、図書館に行かなくても情報を得ることができます。

図書館を忙しい中での教材研究の、「頼れる相棒」にしてみたいかがでしょうか。